

第 116 回

2021年 1 月～3月期

「景況調査」



一般社団法人 福岡県中小企業家同友会

目次

1	回答者の属性.....	1
2	全体の景況判断	4
	(ア) 全体の景況感.....	4
	(イ) 各項目の状況.....	6
3	主要指標のクロス分析	11
	(ア) 景況感別の動向	11
	(イ) 業種別の動向.....	12
	(ウ) 従業員規模別の動向.....	12
	(エ) 本社地区別の動向	12
4	経営上の問題点	13
5	その他の調査項目	16
	(ア) 事業承継塾について	16
	(イ) 経営者保証について	16
6	経営指針書について	18
7	自由回答項目	20
	(ア) 景況理由	20

1 回答者の属性

このアンケートを回答したのはどのような人々か

前回から 22 件増加し 302 件と 2019 年第Ⅳ期以来の 300 件台となった。

第 116 回:調査時期:令和3年3月 1 日～4月2日

回収数:302 件(令和3年3月1日会員数 2,178 名、回収率 13.9%)

方法:edoyu アンケートシステム(Web)、及び FAX

回答方法		第115回		第116回		
No.	カテゴリ	件数	割合%	件数	割合%	構成比増減
1	WEB	276	98.6	290	96	-2.6
2	FAX	4	1.4	12	4	2.6
	サンプル数 (%ベース)	280	280	302	302	22
1.業種		第115回		第116回		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	構成比増減
1	製造業 (生産財)	29	10.4	24	8	-2.4
2	製造業 (消費財)	21	7.5	20	6.6	-0.9
3	建設業 (建築)	27	9.6	30	10	0.4
4	建設業 (土木)	8	2.9	7	2.3	-0.6
5	建設業 (設備)	18	6.4	17	5.6	-0.8
6	商業・流通業	36	12.9	39	13	0.1
7	サービス業 (対事業所)	81	28.9	105	34.9	6
8	サービス業 (対個人)	60	21.4	59	19.6	-1.8
	不明	0	0	1	0	
	サンプル数 (%ベース)	280	280	302	301	21
2.従業員数		第115回		第116回		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	構成比増減
1	0名～5名	93	33.2	111	36.9	3.7
2	6名～10名	48	17.1	46	15.3	-1.8
3	11名～20名	52	18.6	56	18.6	0
4	21名～30名	28	10	23	7.6	-2.4
5	31名～50名	24	8.6	25	8.3	-0.3
6	51名～100名	18	6.4	20	6.6	0.2
7	100名以上	17	6.1	20	6.6	0.5
	不明	0	0	1	0	0
	サンプル数 (%ベース)	280	280	302	301	21

3.本社所在地		第115回		第116回		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	構成比増減
1	福岡地区	189	63.6	203	67.2	3.6
2	北九州地区	44	14.8	29	9.6	-5.2
3	筑豊地区	37	12.5	33	10.9	-1.6
4	県南地区	22	7.4	30	9.9	2.5
5	福岡県外	5	1.7	7	2.3	0.6
	不明	1	0	0	0	0
	サンプル数 (%へ -ス)	298	297	302	302	5
4.所属支部		第115回		第116回		
No.	支部名	件数	(除不)%	件数	(除不)%	構成比増減
1	東支部	20	7.2	26	8.8	1.6
2	福博支部	11	4.0	12	4.0	0.1
3	博多支部	25	9.0	25	8.4	-0.6
4	中央支部	9	3.2	15	5.1	1.8
5	西支部	13	4.7	16	5.4	0.7
6	南支部	26	9.4	32	10.8	1.4
7	筑紫支部	12	4.3	13	4.4	0.1
8	福友支部	28	10.1	35	11.8	1.7
9	青年支部	10	3.6	3	1.0	-2.6
10	玄海支部	12	4.3	13	4.4	0.1
11	かすや支部	12	4.3	10	3.4	-0.9
12	糸島支部	2	0.7	7	2.4	1.6
13	北九州支部	23	8.3	19	6.4	-1.9
14	ひびき支部	8	2.9	8	2.7	-0.2
15	のおがた支部	19	6.8	21	7.1	0.2
16	飯塚支部	8	2.9	9	3.0	0.2
17	田川支部	7	2.5	5	1.7	-0.8
18	久留米支部	10	3.6	11	3.7	0.1
19	大牟田支部	11	4.0	7	2.4	-1.6
20	有明支部	7	2.5	5	1.7	-0.8
21	りょうちく支部	5	1.8	5	1.7	-0.1
	不明	2	0.7	5	1.7	1.0
	サンプル数 (%へ -ス)	280	278	302	297	19.0

4.所属支部		(S A)								
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%	所属会員数	会員 構成比	回収率	回収数 ランキング	回収率 ランキン グ	回答比- 構成比差分
1	東支部	26	8.8	8.6	240	11.0%	10.8%	3	18	(2.2)
2	福博支部	12	4	4	89	4.1%	13.5%	11	14	(0.1)
3	博多支部	25	8.4	8.3	179	8.2%	14.0%	4	11	0.2
4	中央支部	15	5.1	5	124	5.7%	12.1%	8	15	(0.6)
5	西支部	16	5.4	5.3	116	5.3%	13.8%	7	12	0.1
6	南支部	32	10.8	10.6	169	7.8%	18.9%	2	4	3.0
7	筑紫支部	13	4.4	4.3	69	3.2%	18.8%	9	5	1.2
8	福友支部	35	11.8	11.6	350	16.1%	10.0%	1	19	(4.3)
9	青年支部	3	1	1	71	3.3%	4.2%	21	21	(2.3)
10	玄海支部	13	4.4	4.3	117	5.4%	11.1%	9	17	(1.0)
11	かすや支部	10	3.4	3.3	47	2.2%	21.3%	13	2	1.2
12	糸島支部	7	2.4	2.3	51	2.3%	13.7%	16	13	0.1
13	北九州支部	19	6.4	6.3	127	5.8%	15.0%	6	8	0.6
14	ひびき支部	8	2.7	2.6	69	3.2%	11.6%	15	16	(0.5)
15	のおがた支部	21	7.1	7	60	2.8%	35.0%	5	1	4.3
16	飯塚支部	9	3	3	60	2.8%	15.0%	14	7	0.2
17	田川支部	5	1.7	1.7	35	1.6%	14.3%	18	10	0.1
18	久留米支部	11	3.7	3.6	76	3.5%	14.5%	12	9	0.2
19	大牟田支部	7	2.4	2.3	74	3.4%	9.5%	16	20	(1.0)
20	有明支部	5	1.7	1.7	25	1.1%	20.0%	18	3	0.6
21	りょうちく支部	5	1.7	1.7	30	1.4%	16.7%	18	6	0.3
	不明	5		1.7						
	サンプル数 (％' -s)	302	297	100	2178		13.9%			

	%	サ ン プ ル 数	製 造 業 (生 産 財)	製 造 業 (消 費 財)	建 設 業 (建 築)	建 設 業 (土 木)	建 設 業 (設 備)	商 業 ・ 流 通 業	サ ー ビ ス 業 (対 事 業 所)	サ ー ビ ス 業 (対 個 人)
	合計	301	8.0	6.6	10.0	2.3	5.6	13.0	34.9	19.6
本 社 地 区	福岡地区	203	3.0	6.9	8.9	3.4	5.4	12.3	40.4	19.7
	北九州地区	29	20.7	6.9	20.7	0.0	0.0	13.8	27.6	10.3
	筑豊地区	33	15.2	6.1	0.0	0.0	9.1	18.2	24.2	27.3
	県南地区	30	23.3	6.7	16.7	0.0	6.7	10.0	16.7	20.0
	福岡県外	6	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	33.3	16.7
従 業 員 数 規 模	0名～5名	110	3.6	2.7	9.1	1.8	5.5	10.0	43.6	23.6
	6名～10名	46	6.5	4.3	17.4	0.0	6.5	15.2	30.4	19.6
	11名～20名	56	7.1	14.3	10.7	5.4	7.1	7.1	37.5	10.7
	21名～30名	23	17.4	4.3	8.7	4.3	8.7	13.0	17.4	26.1
	31名～50名	25	12.0	16.0	12.0	4.0	4.0	16.0	20.0	16.0
	51名～100名	20	25.0	10.0	5.0	0.0	0.0	20.0	15.0	25.0
	100名以上	20	5.0	0.0	0.0	0.0	5.0	30.0	45.0	15.0

2 全体の景況判断

(ア) 全体の景況感

景況感各種 DI(よいー悪い)の状況はどうなっているか

二期連続の改善から一転して悪化したが、コロナ初動期である第 112 回とほぼ同水準となった。一方、次期予想は連続して改善している。

全体の推移



	今回数値	前回からの変動
景況感 DI	-26.3	-11.8
売上高 DI	-28.1	-3.5
利益 DI	-28.4	-4.4
新規受注 DI	-26.2	-13.5
次期予想 DI	2.0	17.4

長期変動



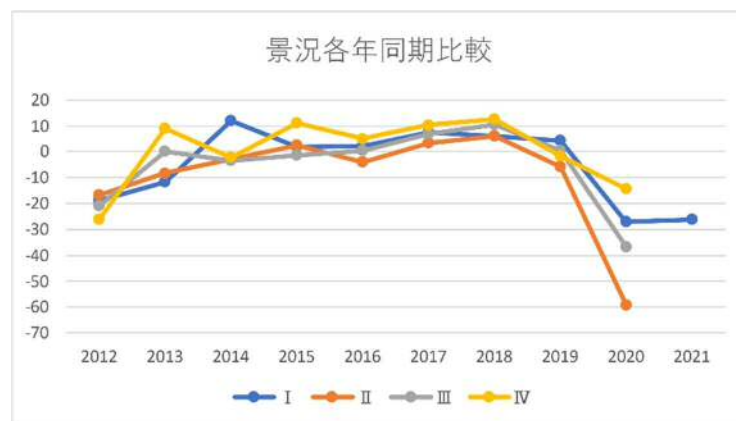
年	月	回	回収数	景況感DI	売上高DI	利益DI	新規受注DI	次期予想	資金繰りDI
2012	I	80	338	-19	-6	-17	-1	-3	-8
	II	81	437	-17	5	-4	-1	4.5	-6
	III	82	502	-21	-6	-15	-3	9.4	-15
	IV	83	357	-26	-9	-19	-10	-13.6	-16
2013	I	84	420	-12	-3	-9	-3	14.4	-16
	II	85	378	-8	2	-7	4	26.9	-8
	III	86	284	0	10	-2	11	25.9	1
	IV	87	290	9	26	13	26	27.3	0
2014	I	88	300	12	25	14	13	2.3	0
	II	89	319	-3	6	-4	-6	20.3	-6
	III	90	294	-3	7	-7	0	15.4	0
	IV	91	319	-2	13	-3	6	3.5	-1
2015	I	92	359	2.0	4.3	1.7	5.5	15.7	-2.0
	II	93	298	2.4	7.6	5.8	8.0	22.9	7.4
	III	94	386	-1.3	6.7	4.2	11.7	21.5	-2.6
	IV	95	355	11.0	11.8	8.4	16.4	15.5	3.9
2016	I	96	424	2.1	10.0	2.9	1.4	9.8	未調査
	II	97	347	-4.1	0	-2.1	4.2	13.5	10.0
	III	98	449	0.5	12.6	7.2	15.1	25.7	6.3
	IV	99	382	5.5	9.5	8	12.2	17.2	5.0
2017	I	100	287	7.4	8.2	5.3	9.5	20.4	未調査
	II	101	409	3.4	14.9	4.7	16	29.5	6.9
	III	102	442	6.9	12.6	6.7	10.6	31	5.7
	IV	103	355	10.3	14.2	11.6	13.8	23.2	12.2
2018	I	104	358	6.1	7.3	-0.3	8.8	16.5	5.9
	II	105	382	6	13.7	5.3	8.6	25.2	9.5
	III	106	273	10.5	12.9	7.3	7.9	24.5	10.7
	IV	107	296	12.6	14.3	4.4	5.8	17.4	4.1
2019	I	108	301	4.3	11.9	5.7	7.5	10.4	1.0
	II	109	277	-5.9	0.4	-3.6	-0.4	21.6	3.3
	III	110	267	0.5	0.8	-5.4	3.1	11.3	8.7
	IV	111	307	-1.7	5	-3.6	0.6	8.1	5.9
2020	I	112	217	-27.2	-28.1	-28.6	-26.3	-52.2	
	II	113	254	-59.4	-59.9	-55.8	-60.5	-22	2.8
	III	114	298	-36.9	-44.1	-42	-32.2	-14.5	24.9
	IV	115	280	-14.5	-24.6	-24	-12.7	-15.4	26.4
2021	I	116	302	-26.3	-28.1	-28.4	-26.2	2	16.1

2014以前は四捨五入

※資金繰りDIは73回より5段階評価

景況感は現況判断のため、同期比較すると以下のような推移となっている。

	I	II	III	IV
2012	-19	-17	-21	-26
2013	-12	-8.3	0	9
2014	11.9	-2.9	-3.4	-2.2
2015	2	2.4	-1.3	11
2016	2.1	-4.1	0.5	5
2017	7.4	3.4	6.9	10.3
2018	6.1	6	10.5	12.6
2019	4.3	-5.9	0.5	-1.7
2020	-27	-59	-37	-15
2021	-26			



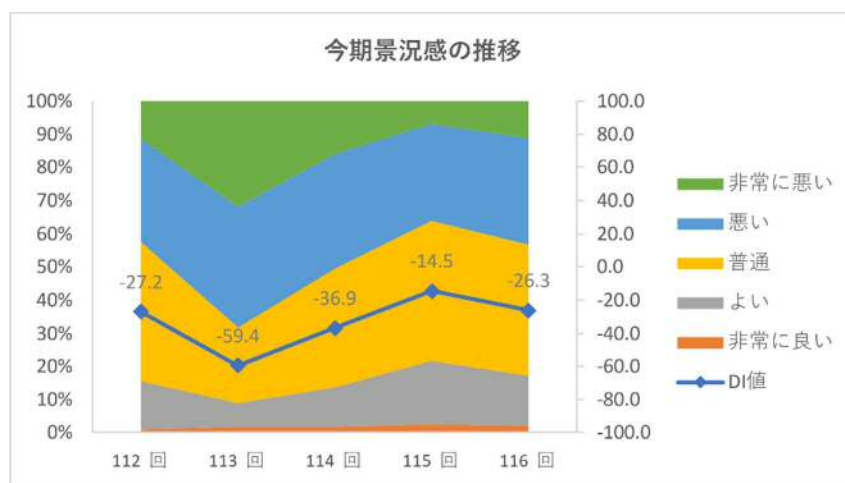
(イ) 各項目の状況

今期景況感 DI

2021 年 1~3 月期の貴社の景況判断はいかがでしたか。

前回より 11.8pt 悪化して-26.3 となった。D I 値としては 111 回より 10pt 以上低かった前回とくらべ、コロナ初動期の 112 回並ともいえる。

5.今期景況判断		第115回	DI値	-14.5	第116回	DI値	-26.3	-11.8
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%	増減	
1	非常に良い	7	2.5	21.6	6	2	-0.5	-4.5
2	よい	53	19.1		45	15.1	-4.0	
3	普通	117	42.2		118	39.5	-2.7	+7.3
4	悪い	81	29.2		97	32.4	+3.2	
5	非常に悪い	19	6.9		33	11	+4.1	
	不明	3			3			
	サンプル数 (%ベース)	280	277		302	299	22	



「普通」が 2.7pt 減少に比べ「悪い」側は計 7.3pt 増加している。

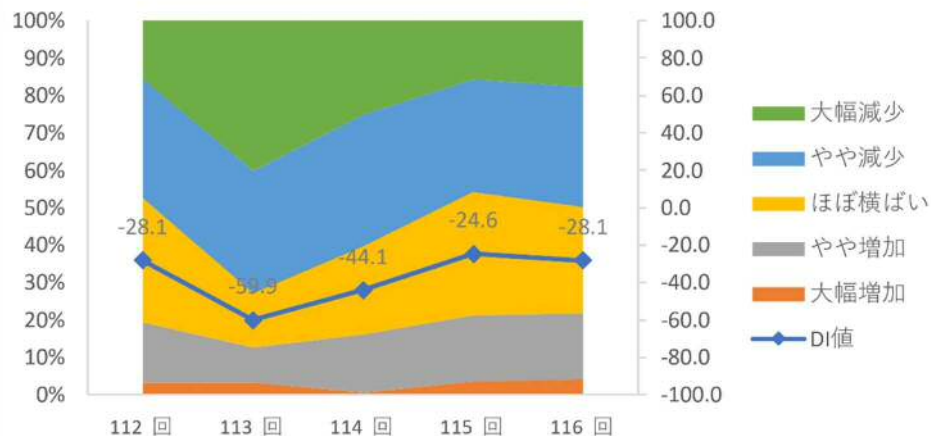
売上高 DI

2021 年 1~3 月期の貴社の「売上高」について、前年同期(2020 年 1~3 月期)に比較してお答えください。

前回の 19.5pt 改善に対し、今回は 3.5pt 悪化の-28.1 となった。第 112 回と同値である。

6.対前年同期売上高比較				第115回	DI値	-24.6	第116回	DI値	-28.1	-3.5
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%	増減			
1	大幅増加	10	3.6	→	12	4.1	+0.5	21.7	+0.4	
2	やや増加	49	17.7		52	17.6	-0.1		+0.4	
3	ほぼ横ばい	91	32.9		84	28.5	-4.4	28.5	-4.4	
4	やや減少	83	30		95	32.2	+2.2	49.8	+3.9	
5	大幅減少	44	15.9		52	17.6	+1.7		+3.9	
	不明	3			7					
	サンプル数 (%ベース)	280	277		302	295	18			

対前年同期売上比較の推移



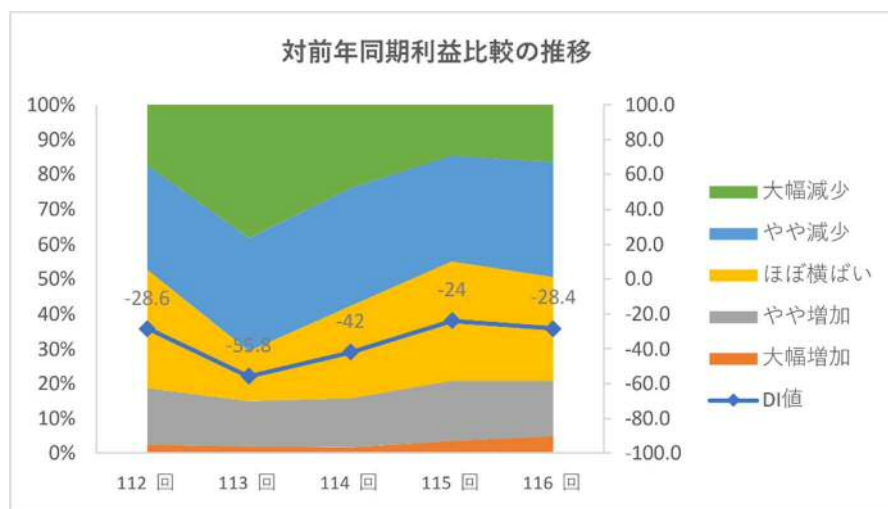
	景況理由 pickup「売上」	業種
よい	昨年 12 月～1 月に一番の需要期を迎えたが、新型コロナの影響で公共需要、民間需要ともに発注が遅れ 1 月～2 月に売上が集中した。	製造業（生産財）
	客層が食品スーパー、ホームセンター等が多く、コロナの影響でひきこもりのため、リフォームなど個人で行う人が多く、売上げ増につながっている。	建設業（建築）
普通	コロナの影響で既存ユーザーの売上が減少。新規の受注が有り、横ばい状態を継続	製造業（消費財）
悪い	商品の動きが悪く売上・利益ともに前年割れした。新規コロナ禍が長引き、イベント・外出の機会が減った分、については、この状況がまだ続く見込みの中で、対応できる商品企画が活発になってきているため、増えてきている。	製造業（消費財）

利益 DI

2021 年 1~3 月期の貴社の「利益」について、前年同期((2020 年 1~3 月期)に比較してお答えください。

前回の 18.0pt 改善に対し 4.4pt 悪化の-28.4 となった。第 112 回とほぼ同値である。

7.対前年同期利益比較			第115回	DI値	-24	第116回	DI値	-28.4		-4.4
No.	カテゴリ	件数	(除不)%			件数	(除不)%		増減	
1	大幅増加	10	3.6	20.9	→	14	4.8	20.9	+1.2	+0.0
2	やや増加	48	17.3			47	16.1		-1.2	
3	ほぼ横ばい	95	34.2	34.2		87	29.8	29.8	-4.4	
4	やや減少	84	30.2	44.9		96	32.9	49.3	+2.7	+4.4
5	大幅減少	41	14.7			48	16.4		+1.7	
	不明	2				10				
	サンプル数 (% [△] - [△] s)	280	278			302	292		14	



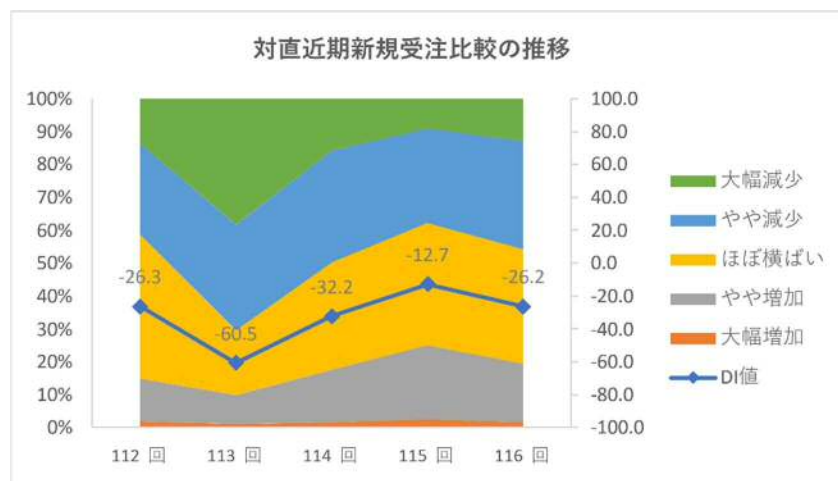
	景況理由 Pickup「益」	
悪い	コロナ禍が長引き、イベント・外出の機会が減った分、商品の動きが悪く売上・利益ともに前年割れした。新規については、この状況がまだ続く見込みの中で、対応できる商品企画が活発になってきているため、増えてきている。	製造業（消費財）
悪い	ほぼ横ばい状態で雀の涙位は伸びてるけれど利益が出たと言えない	建設業（設備）

新規受注 DI

2021 年 1~3 月期の貴社の「新規受注」について、直近期(2020 年 10~12 月期)に比較してお答えください。

前々回の 28.3pt 改善、前回の 19.5pt 改善から一転、13.5pt 悪化し-26.2 となったが、第 112 回とほぼ同値である。

8.対直近期新規受注比較				第115回	DI値	-12.7	第116回	DI値	-26.2	-13.5
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%	増減			
1	大幅増加	7	2.5	→	5	1.7	-0.8	19.5	-5.5	
2	やや増加	62	22.5		53	17.8	-4.7			
3	ほぼ横ばい	103	37.3		104	34.9	-2.4	34.9		
4	やや減少	79	28.6		98	32.9	+4.3	45.7	+8.0	
5	大幅減少	25	9.1		38	12.8	+3.7			
	不明	4			4					
	サンプル数 (%へ -ス)	280	276		302	298	22			



	景況理由 pickup「受注」	
非常によい	コロナ禍で延期となっていた案件の受注が取れたため。	サービス業 (対事業所)
よい	文が大幅アップ。通販の大口の受注も巣ごもり需要と厳冬でネット経由の注あった。粗利が少なく小ロットの卸は逆に大幅減。	製造業(消費財)
	インターネット関連の受注が好評のため	サービス業 (対事業所)
悪い	2月受注予定の物件がなくなった。	建設業(建築)
	コロナで売上減。大きな受注はあったが、納品はまだ	商業・流通業

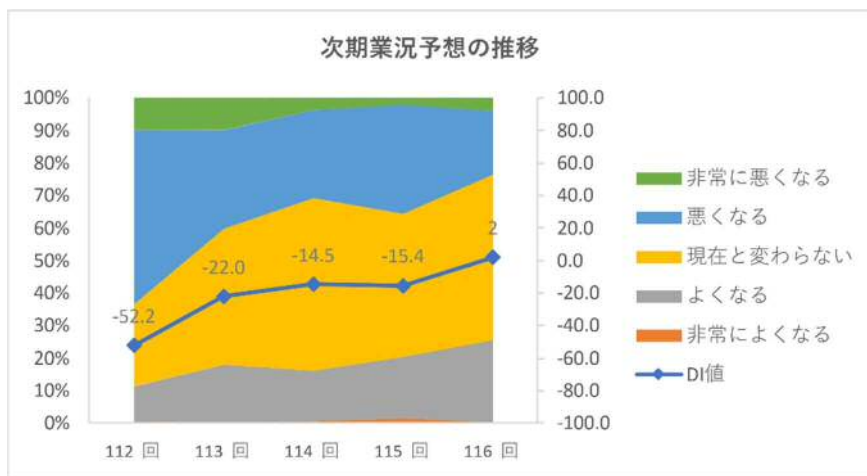
次期予想 DI

2021 年 4～6 月期の貴社の業況をどのように予想されていますか。

前々回に 30.2pt 改善、前回は 7.5pt 改善したが、「悪くなる」の増加で今回は 0.9pt 下げて-15.4 となった。

10.次期業況予想			第115回	DI値	-15.4	第116回	DI値	2	+17.4
No.	カテゴリ	件数	(除不)%			件数	(除不)%		増減
1	非常によくなる	4	1.5			1	0.3		-1.2
2	よくなる	51	18.8			74	25.2		+6.4
3	現在と変わらない	120	44.1			150	51		+6.9
4	悪くなる	91	33.5			57	19.4		-14.1
5	非常に悪くなる	6	2.2			12	4.1		+1.9
	不明	8				8			
	サンプル数 (%ベース)	280	272			302	294		22

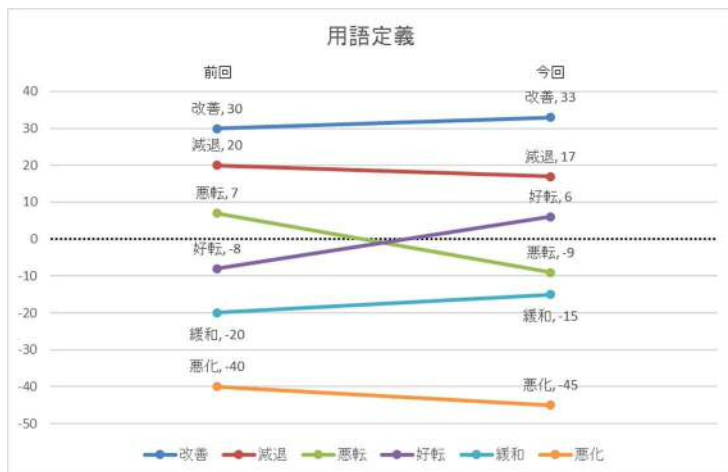
10.次期業況予想 × 5.今期
景況判断



上段:度数 下段:%		10.次期業況予想					
		合計	非常によくなる	よくなる	現在と変わらない	悪くなる	非常に悪くなる
5.今期景況判断	合計	291	1	73	149	57	11
		100.0	0.3	25.1	51.2	19.6	3.8
	非常に良い	6	-	3	-	3	-
		100.0	-	50.0	-	50.0	-
	よい	44	-	18	19	6	1
		100.0	-	40.9	43.2	13.6	2.3
5.今期景況判断	普通	112	-	18	74	18	2
		100.0	-	16.1	66.1	16.1	1.8
	悪い	96	1	23	42	28	2
5.今期景況判断		100.0	1.0	24.0	43.8	29.2	2.1
	非常に悪い	33	-	11	14	2	6
		100.0	-	33.3	42.4	6.1	18.2

3 主要指標のクロス分析

			DI値増加	DI値減少		
説明	DI値が正	改善の回答が多い	改善増進	改善減退	0か負から正	好転
	DI値が負	悪化の回答が多い	悪化緩和	悪化	0か正から負	悪転



本クロス分析では「よい」-「悪い」の差である DI 値を前回数値と比較した変動と合わせて評価している。

以下の表中カッコ内は前回との差であり太字は前回 DI 値から符号反転したことを示している。

DI 値がプラスである場合はよい回答が多いことを示しているため、前回より値が減少してもプラスである限りは全体の趨勢としてはまだ良であることを表している。

(ア) 景況感別の動向

景況感の良し悪しはその他の指標とどのような関係にあったか

「普通」以上は各指標改善がみられるが、「よい」の売上、「普通」の次期予想において悪化がみられる。「悪い」側は売上・利益とも極めて悪いが新規受注は「悪い」で横ばい、「非常に悪い」で悪化緩和している。

	第116回	景況件数	景況DI構成比	売上高DI値	利益DI値	新規受注DI値	次期予想DI値	件単位
有効回答数		299	100%	293	290	296	291	
今期	非常に良い	6	2%(0.4)	100(0)	100(0)	50(-30)	0(-40)	16.7
	よい	45	15.1%(7.9)	81.8(1.8)	76.7(16.7)	43.2(-2.5)	25(5)	2.2
景況	普通	118	39.5%(16.4)	-7.7(14.2)	-12.2(1.3)	-9.3(-3.6)	-1.8(0.2)	0.8
	悪い	97	32.4%(-3.9)	-89.4(1.7)	-85.1(1.9)	-68.8(2.3)	-6.3(29.1)	1.0
感	非常に悪い	33	11%(-20.9)	-100(-2.1)	-87.5(10.4)	-71.9(4.2)	9.1(40.2)	3.0

(イ) 業種別の動向

業種別の各指標の状況はどのようなであったか

製造業等においてやや改善がみられるが商業やサービス業は悪化が多い。土木は悪転している。次期予想はほとんどが好転や改善している。

	第116回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
	クロス回答数		298(21)	294(17)	291(13)	297(21)	293(21)	
	全体	301	-26.5(-12.1)	-28.2(-3.7)	-28.5(-4.4)	-25.9(-13.2)	2(17.5)	0.3
業 種	製造業（生産財）	24	-25(16.4)	-33.3(18.4)	-33.3(21.8)	-33.3(-36.8)	-17.4(4)	4.2
	製造業（消費財）	20	-35(22.1)	-60(6.7)	-45(20)	-30(12.9)	-10(47.1)	5.0
	建設業（建築）	30	-6.7(4.4)	0(40.7)	-20.7(23.8)	-20(-8.9)	3.8(19.8)	3.3
	建設業（土木）	7	-14.3(-39.3)	-28.6(-41.1)	-14.3(-26.8)	-14.3(-26.8)	42.9(55.4)	14.3
	建設業（設備）	17	11.8(0.7)	18.8(2.1)	11.8(0.7)	-5.9(5.2)	-35.3(-29.4)	5.9
	商業・流通業	39	-30.8(-8.5)	-43.2(-4.4)	-28.6(4.8)	-26.3(-1.3)	20.5(34.8)	2.6
	サービス業（対事業所）	105	-26.9(-21.9)	-24.3(-19.3)	-27.7(-26.5)	-20.2(-16.4)	1.9(5.6)	1.0
	サービス業（対個人）	59	-43.9(-35.4)	-40.4(-16.2)	-39.7(-12.5)	-42.1(-22.8)	6.9(24.4)	1.7

(ウ) 従業員規模別の動向

従業員規模の大小は各指標でどのような差が表れたか

6～50名の層で改善項目が多いが0～5名や51名以上は悪化項目が多い。

	第116回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
	クロス回答数		298(21)	294(17)	291(13)	297(21)	293(21)	
	全体	301	-26.2(-11.7)	-27.9(-3.3)	-28.2(-4.1)	-26.3(-13.6)	2(17.5)	0.3
従 業 員 規 模	0～5名	111	-26.1(-16.2)	-29.4(-12)	-28.7(-15.8)	-22.5(-20.3)	1.9(6.3)	0.9
	6名～10名	46	-19.6(-2.9)	-20(14)	-30.4(1.5)	-39.1(-13.6)	8.9(20)	2.2
	11名～20名	56	-25.5(-0.5)	-26.8(0.1)	-21.8(9)	-16.4(1.3)	0(26)	1.8
	21名～30名	23	-39.1(-17.7)	-22.7(9.4)	-13.6(25.6)	-22.7(-12)	-8.7(12.7)	4.3
	31名～50名	25	-12(17.2)	-24(21.8)	-41.7(8.3)	-40(5.8)	8(47.1)	4.0
	51名～100名	20	-45(-33.9)	-42.1(-19.9)	-42.1(-31)	-45(-61.7)	-15.8(0.9)	5.0
	100名以上	20	-27.8(-59)	-38.9(-51.4)	-23.5(-29.8)	-11.1(-4.9)	15(26.8)	5.0

(エ) 本社地区別の動向

地区別ではどのような状況であったか

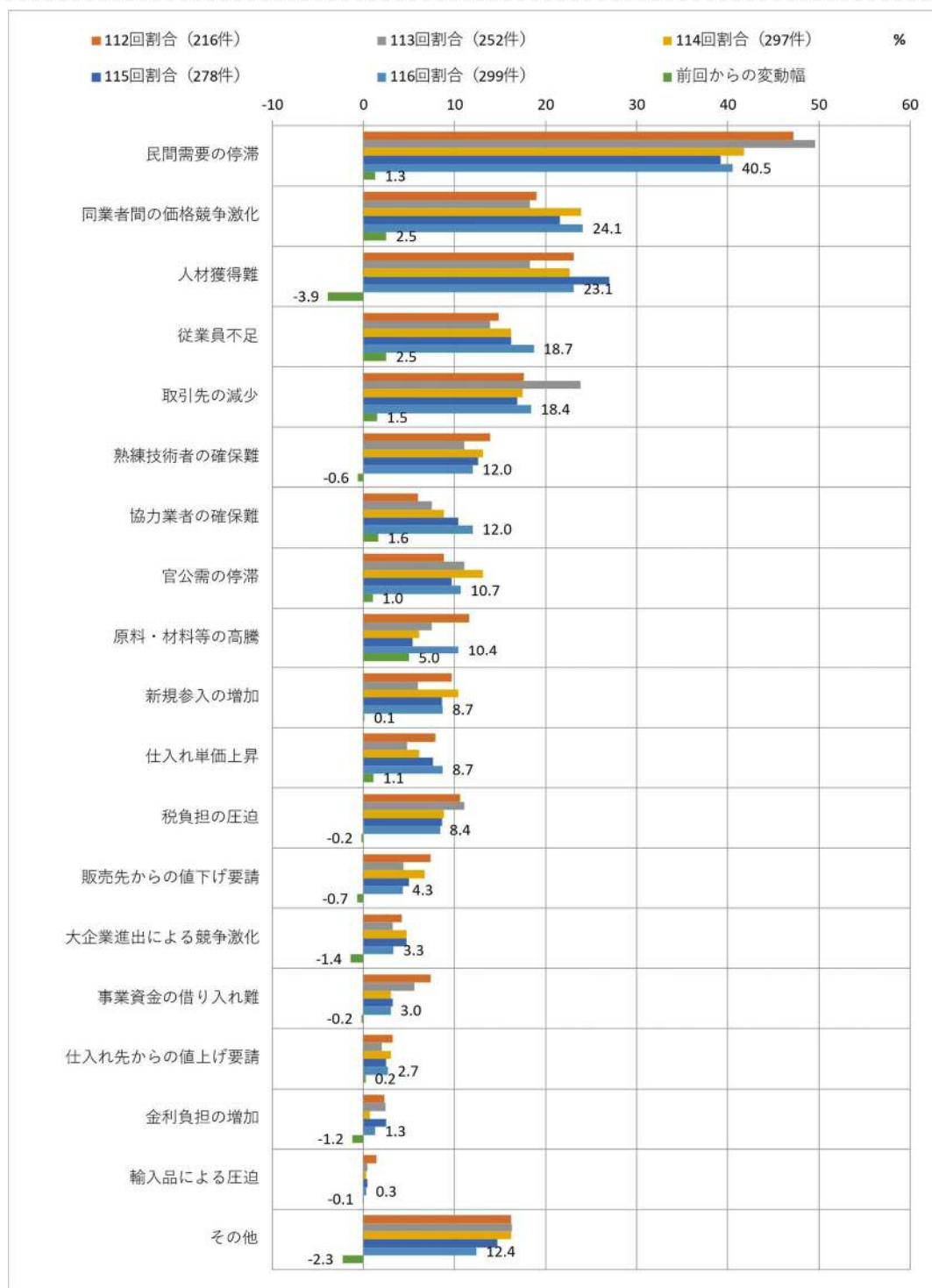
各地区悪化がみられるが次期予想は改善が多いなか、北九州・県南は次期予想の水準が低い。

	第116回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
	クロス回答数		299(22)	295(18)	292(14)	298(22)	294(22)	
	全体	302	-26.4(-12)	-28.1(-3.6)	-28.4(-4.3)	-26.2(-13.5)	2(17.5)	0.3
本 社 地 区	福岡地区	203	-28.5(-18)	-27.4(-6.5)	-25.5(-4.1)	-27.1(-11.9)	8.6(16.1)	0.5
	北九州地区	29	-37.9(-22.8)	-44.8(0.6)	-48.3(-8.9)	-24.1(-5.4)	-17.2(18.2)	3.4
	筑豊地区	33	-12.1(18.2)	-21.9(-3.1)	-15.6(12.5)	-21.2(-18.2)	12.5(31.3)	3.0
	県南地区	30	-30(-7.1)	-36.7(-2.4)	-51.7(-17.4)	-33.3(-24.8)	-31(6.5)	3.3
	福岡県外	7	28.6(8.6)	28.6(8.6)	16.7(-63.3)	0(-20)	-16.7(-16.7)	14.3

4 経営上の問題点

貴社において、現在の経営上の問題点の内、特に厳しいもの3項目までを選んでご回答ください。

前回から大きな変動はないが人材獲得難が減少、原材料高騰が増加している。。



■問題点自由回答

コロナ関係

1. コロナでイベントが開催されていない 商業・流通業
2. コロナ サービス業(対事業所)
3. コロナの影響 サービス業(対個人)
4. コロナウイルスの影響 サービス業(対事業所)
5. 新型コロナウイルス商業・流通業
6. コロナ 製造業(生産財)
7. コロナ禍で顧問先の売上減少 サービス業(対事業所)
8. コロナによる外注なし サービス業(対個人)
9. 受注の見合わせ、中止、コロナ禍の先を見越せないサービス業(対事業所)

コロナ以外

1. 社員育成 サービス業(対事業所)
2. 遠距離への出張の制限 製造業(消費財)
3. 若手従業員が多く、能力が不足 サービス業(対事業所)
4. 絶対的売上減少 商業・流通業
5. メンバーのレベルアップ サービス業(対事業所)
6. 値上げ交渉 サービス業(対事業所)
7. 従業員のライフステージ変化に伴う人員の配置 サービス業(対個人)
8. 自社の休日増加及び過重労働削減による労働時間短縮における生産性の低下 製造業(生産財)
9. 特になし サービス業(対事業所)
10. 国の報酬改定による減算 サービス業(対個人)

本社地区別の経営上の問題点						
%	全体	福岡地区	北九州地区	筑豊地区	県南地区	福岡県外
回答件数	299	202	29	33	29	6
民間需要の停滞	40.5	39.1	37.9	30.3	69.0	16.7
人材獲得難	24.1	25.2	17.2	24.2	24.1	16.7
同業者間の価格競争激化	23.1	20.8	20.7	36.4	24.1	33.3
取引先の減少	18.7	16.8	20.7	12.1	27.6	66.7
従業員不足	18.4	17.3	10.3	24.2	27.6	16.7
熟練技術者の確保難	12.0	11.9	6.9	15.2	17.2	0.0
協力業者の確保難	12.0	10.4	31.0	3.0	10.3	33.3
官公需の停滞	10.7	11.4	10.3	9.1	6.9	16.7
税負担の圧迫	10.4	9.4	13.8	9.1	17.2	0.0
新規参入の増加	8.7	9.4	0.0	15.2	6.9	0.0
仕入れ単価上昇	8.7	10.9	6.9	3.0	3.4	0.0
原料・材料等の高騰	8.4	7.4	10.3	12.1	6.9	16.7
販売先からの値下げ要請	4.3	3.5	10.3	9.1	0.0	0.0
大企業進出による競争激化	3.3	3.0	6.9	6.1	0.0	0.0
事業資金の借り入れ難	3.0	2.0	13.8	3.0	0.0	0.0
仕入れ先からの値上げ要請	2.7	3.5	0.0	0.0	0.0	16.7
金利負担の増加	1.3	1.0	0.0	3.0	3.4	0.0
輸入品による圧迫	0.3	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0
その他	12.4	14.4	10.3	9.1	6.9	0.0
各業種別回答数に対するパーセント						
色付きセルは業種別の上位五項目						

業種別の経営上の問題点									
%	全体	製造業 (生産財)	製造業 (消費財)	建設業 (建築)	建設業 (土木)	建設業 (設備)	商業・流通業	サービス業 (対事業所)	サービス業 (対個人)
回答件数	299	24	20	30	7	17	39	105	57
民間需要の停滞	40.5	50.0	70.0	50.0	14.3	35.3	46.2	34.3	33.3
人材獲得難	24.1	25.0	30.0	33.3	14.3	17.6	33.3	20.0	21.1
同業者間の価格競争激化	23.1	25.0	20.0	20.0	42.9	41.2	23.1	17.1	28.1
取引先の減少	18.7	8.3	10.0	30.0	14.3	41.2	15.4	16.2	21.1
従業員不足	18.4	20.8	30.0	10.0	0.0	5.9	25.6	21.0	14.0
熟練技術者の確保難	12.0	12.5	10.0	13.3	42.9	29.4	0.0	11.4	12.3
協力業者の確保難	12.0	8.3	5.0	36.7	42.9	29.4	0.0	10.5	5.3
官公需の停滞	10.7	8.3	10.0	13.3	57.1	17.6	2.6	12.4	5.3
税負担の圧迫	10.4	29.2	20.0	10.0	14.3	11.8	12.8	1.9	12.3
新規参入の増加	8.7	8.3	0.0	20.0	0.0	11.8	23.1	1.0	10.5
仕入れ単価上昇	8.7	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	7.7	10.5	17.5
原料・材料等の高騰	8.4	8.3	5.0	3.3	14.3	11.8	5.1	8.6	12.3
販売先からの値下げ要請	4.3	8.3	10.0	6.7	0.0	0.0	7.7	3.8	0.0
大企業進出による競争激化	3.3	8.3	5.0	0.0	0.0	0.0	7.7	2.9	1.8
事業資金の借り入れ難	3.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	5.1	2.9	5.3
仕入れ先からの値上げ要請	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	3.8	1.8
金利負担の増加	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	3.5
輸入品による圧迫	0.3	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	12.4	12.5	5.0	3.3	14.3	5.9	10.3	16.2	15.8
各業種別回答数に対するパーセント									
色付きセルは業種別の上位五項目									

5 その他の調査項目

(ア) 事業承継塾について

	12.事業承継塾について	(S A)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	知っている	276	91.7	91.4
2	知らない	25	8.3	8.3
	不明	1		0.3
	サンプル数 (%ベース)	302	301	100

	13.事業承継の予定	(S A)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	既に承継した	32	10.8	10.6
2	1年後予定している	13	4.4	4.3
3	3年後予定している	31	10.5	10.3
4	5年後予定している	33	11.1	10.9
5	10年後予定している	50	16.9	16.6
6	予定なし	137	46.3	45.4
	不明	6		2
	サンプル数 (%ベース)	302	296	100

(イ) 経営者保証について

	14.経営者保証	(S A)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	経営者と後継者で二重保証して	4	1.4	1.3
2	経営者のみ保証している	173	60.9	57.3
3	保証していない	107	37.7	35.4
	不明	18		6
	サンプル数 (%ベース)	302	284	100

	15.経営者保証外しでの金利	(S A)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	上がった	6	4.1	2
2	上がっていない	142	95.9	47
	不明	154		51
	サンプル数 (%ベース)	302	148	100

質問 16 質問 15 で「上がった」と回答された方にお尋ねします。何%程度上がりましたか。

・外したことがないのでわからない ◆(サービス業(対事業所) 21名～30名 筑豊地区 悪い)

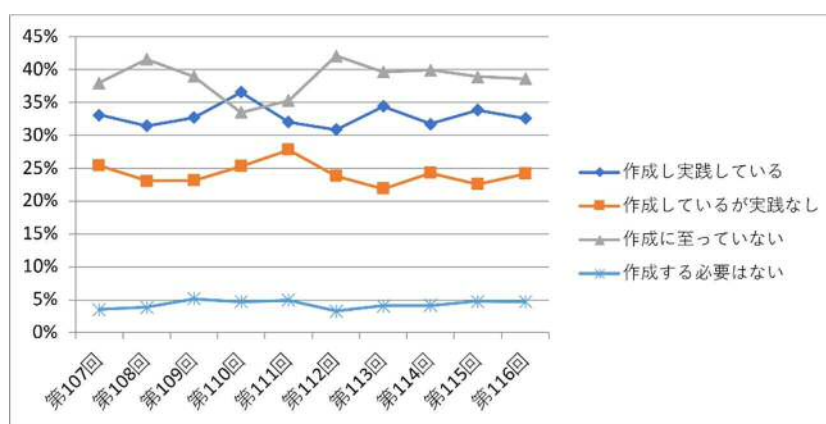
	17.緊急融資の元金据置期間	(S A)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	1年以内	30	10.5	9.9
2	2年以内	28	9.8	9.3
3	3年以内	76	26.5	25.2
4	4年以内	1	0.3	0.3
5	5年以内	26	9.1	8.6
6	利用していない	126	43.9	41.7
	不明	15		5
	サンプル数 (%ベース)	302	287	100

6 経営指針書について

作成の状況

経営指針書を作成していますか。また、指針書に基づいた経営を実践していますか。

	経営指針書の作成と実践	第115回		第116回		増減
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	作成し実践している	93	33.8	97	32.6	-1.2
2	作成しているが実践なし	62	22.5	72	24.2	1.7
3	作成に至っていない	107	38.9	115	38.6	-0.3
4	作成する必要はない	13	4.7	14	4.7	0
	不明	5	0	4	0	
	サンプル数 (%ベース)	280	275	302	298	23



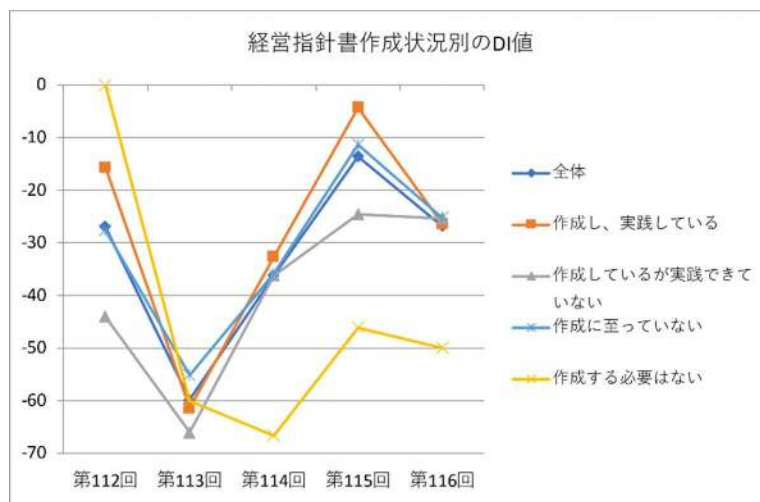
検証状況

「作成し実践している」と回答された方にお尋ねします。毎月、検証(チェック)していますか。

	20.経営指針書の検証について	(S A)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	毎月検証している	35	36.5	11.6
2	毎月ではないが検証している	37	38.5	12.3
3	年に1回は検証している	21	21.9	7
4	全く検証していない	3	3.1	1
	不明	206		68.2
	サンプル数 (%ベース)	302	96	100

経営指針書の成果

経営指針書の活用は今期景況感の回答にどのように関係しているか



各指標 DI の状況

	第116回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
	クロス回答数		295(23)	292(20)	288(15)	294(23)	290(23)	
指	全体	295	-26.8(-13.2)	-28.8(-4.9)	-29.2(-5.7)	-26.5(-13.6)	2.1(17.1)	0.3
針	作成し、実践している	95	-26.3(-22)	-33(-15.6)	-29(-16)	-21.3(-8.1)	10.4(23.5)	1.1
書	作成しているが実践できていない	71	-25.4(-0.8)	-23.9(22.8)	-34.3(16.5)	-27.8(0.1)	-5.7(16.3)	1.4
別	作成に至っていない	115	-25.2(-13.9)	-23.9(-11.5)	-23.2(-10.1)	-24.6(-20.8)	1.8(16.4)	0.9
	作成する必要はない	14	-50(-3.8)	-64.3(-10.4)	-53.8(0)	-71.4(-54.8)	-15.4(-15.4)	7.1

7 自由回答項目

(ア) 景況理由

	5. 今期景況判断	1. 業種	2. 従業員数	3. 本社所在地	9. 景況判断理由
1	非常に良い	製造業(生産財)	100 名以上	北九州地区	同友会での教えを実践した結果.①グローバルゼーション(この変化を何が引っ張るか)②経済のデジタル化(我々中小企業は大手に挑戦する絶好のチャンス)③企業、社会をはじめとして人間の生活意識の急速な環境変化への対応。
2	非常に良い	建設業(設備)	0 名～5 名	福岡地区	官民の停滞
3	非常に良い	建設業(設備)	100 名以上	福岡県外	コロナによるテレワーク増に伴う通信設備構築工事の増加
4	非常に良い	サービス業(対事業所)	0 名～5 名	福岡地区	紹介が多く、業務が増えている。
5	非常に良い	サービス業(対事業所)	0 名～5 名	北九州地区	コロナ禍で延期となっていた案件の受注が取れたため。
6	非常に良い	サービス業(対個人)	31 名～50 名	筑豊地区	コロナの影響をあまり受けておらず、計画通りに成長した
7	よい	製造業(生産財)	21 名～30 名	県南地区	昨年 12 月～1 月に一番の需要期を迎えたが、新型コロナウイルスの影響で公共需要、民間需要ともに発注が遅れ 1 月～2 月に売上が集中した。
8	よい	製造業(生産財)	31 名～50 名	県南地区	年度末のため 3 月までは忙しい。
9	よい	製造業(生産財)	51 名～100 名	県南地区	コロナ不況に入る前からの営業努力と設備新增設による
10	よい	製造業(消費財)	11 名～20 名	福岡地区	業種的にコロナの影響が少なく売上げ的に良かった。
11	よい	製造業(消費財)	11 名～20 名	筑豊地区	コロナで同業者が廃業したため
12	よい	製造業(消費財)	31 名～50 名	県南地区	巣ごもり需要と厳冬でネット経由の注文が大幅アップ。通販の大口の受注もあった。粗利が少なく小ロットの卸は逆に大幅減。
13	よい	建設業(建築)	0 名～5 名	福岡地区	物件数の増加による
14	よい	建設業(建築)	6 名～10 名	福岡地区	理由は分かりません。
15	よい	建設業(建築)	11 名～20 名	福岡地区	経営指針の浸透、SNS 広報の強化
16	よい	建設業(建築)	11 名～20 名	北九州地区	客層が食品スーパー、ホームセンター等が多く、コロナの影響でひきこもりのため、リフォームなど個人で行う人が多く、売上げ増につながっている。
17	よい	建設業(建築)	31 名～50 名	福岡地区	BCP対策をしっかりとやり、理念経営を実施した
18	よい	建設業(土木)	31 名～50 名	福岡地区	コロナで延期になった納期が延びたため
19	よい	建設業(設備)	6 名～10 名	福岡地区	公共、民間業者から受注増加。
20	よい	建設業(設備)	11 名～20 名	筑豊地区	地域の公共工事の増大に伴う売り上げ増加

21	よい	商業・流通業	0名～5名	福岡地区	新商品の売上
22	よい	商業・流通業	0名～5名	福岡地区	パートナーとして協力会社が増えた為
23	よい	商業・流通業	100名以上	福岡地区	年が明けお客様からの注文が多くなりました。
24	よい	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	商品の認知度が高まってきた。
25	よい	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	長期賃貸の退去がありリノベーションの提案にて内装工事代が増えた。中古マンション、戸建の仲介が増えた。
26	よい	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	インターネット関連の受注が好評のため
27	よい	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡県外	新規受注先が増えた為。
28	よい	サービス業(対事業所)	21名～30名	福岡地区	コロナの影響はほぼありませんでした
29	よい	サービス業(対事業所)	51名～100名	福岡地区	営業力強化方針、実施のため。
30	よい	サービス業(対個人)	6名～10名	福岡地区	風が吹いている
31	よい	サービス業(対個人)	11名～20名	福岡県外	取引先が増えた
32	よい	サービス業(対個人)	51名～100名	福岡地区	巣ごもりで家電・家具や EC 需要が伸びたため。
33	普通	製造業(生産財)	0名～5名	福岡地区	果樹栽培しておりまして 1 月～3 月は収入がほぼありません。
34	普通	製造業(消費財)	0名～5名	福岡地区	緊急事態宣言(～2 月下旬)で再び工事延期などが発生。
35	普通	製造業(消費財)	11名～20名	福岡地区	外部環境により顧客の変化
36	普通	製造業(消費財)	51名～100名	福岡地区	コロナの影響で既存ユーザーの売上が減少。新規の受注が有り、横ばい状態を継続
37	普通	建設業(建築)	0名～5名	福岡地区	コロナの影響。
38	普通	建設業(建築)	0名～5名	福岡地区	コロナ
39	普通	建設業(建築)	0名～5名	県南地区	全体的な景気状況が徐々に自社の状況にも影響し始めていると考えています。
40	普通	建設業(建築)	0名～5名	福岡県外	こつこつと SNS、ホームページの更新からの、直にお客様との取引が増えた。
41	普通	建設業(建築)	6名～10名	福岡地区	コロナで商談が停滞した。
42	普通	建設業(土木)	11名～20名	福岡地区	元請工事受注による。
43	普通	建設業(土木)	11名～20名	福岡地区	新たな営業活動を行って結果が得られた為
44	普通	建設業(土木)	21名～30名	福岡地区	理由は無し。
45	普通	建設業(設備)	6名～10名	福岡地区	顧客が安定しているため。
46	普通	建設業(設備)	21名～30名	県南地区	上期の営業が受注につながった
47	普通	商業・流通業	0名～5名	福岡地区	新規案件数よりリピーター中心のため、変わらず。
48	普通	商業・流通業	11名～20名	福岡地区	景気の後退
49	普通	商業・流通業	11名～20名	福岡地区	直近期には政府からの支援が取引先等に行われたので購入機会が増えたのが要因
50	普通	商業・流通業	31名～50名	福岡地区	コロナでユーザーの先行きが不透明だから。
51	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	定期的な仕事のほか、流動的な仕事は昨年と同様程度に依頼があった。

52	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	既存の客からの紹介
53	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	コロナ禍にて微減のまま継続
54	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	新たな仕事の受注
55	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	不明
56	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	コロナの問題だと思う。
57	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	公的な仕事のウエイトが大きい、受注は安定している。
58	普通	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡地区	コロナの問題、他
59	普通	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡地区	コロナ禍の影響と思われる。
60	普通	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡地区	新規顧客の開拓営業がコロナ禍で難しいため。
61	普通	サービス業(対事業所)	6名～10名	筑豊地区	車両販売において減少。コロナの情勢より
62	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	昨年のコロナ禍より改善した。
63	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	競合案件が多数ある為。
64	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	プロジェクトへの投入、要因の増加。
65	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	昨年はコロナの影響もあつてか少し売上が下降したが、再びマンション開発が活発になっているため
66	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	筑豊地区	この4・5年あまり変わらない状況が続いています。
67	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	県南地区	景気後退
68	普通	サービス業(対事業所)	31名～50名	福岡県外	商品の入荷の遅れ
69	普通	サービス業(対事業所)	100名以上	北九州地区	コロナ禍の影響で一部顧客の受注が減少、公共工事の受注をしているので2月、3月は増加する。
70	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	調剤薬局に於いてあまり大きく変化がない。
71	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	昨年は緊急事態宣言で営業活動ができなかったが、今年は営業活動が予定通り出来た。
72	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	世界的コロナの減少(国によってお終息)大村智教授(ノーベル賞受賞)のイベルメクチン薬の存在。
73	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	緊急事態宣言の影響もあり、1、2月は横ばいでした。が3月は忙しくなりました。
74	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	コロナ禍の影響だと感じます。
75	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	不景気
76	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	筑豊地区	不明
77	普通	サービス業(対個人)	11名～20名	福岡地区	コロナ禍でも自分の事業のできることに注力して仕事をおこなっている
78	普通	サービス業(対個人)	31名～50名	県南地区	1月、2月のお客様からの問合せが減少した
79	普通	サービス業(対個人)	100名以上	福岡地区	コロナ禍の影響
80	悪い	製造業(生産財)	0名～5名	県南地区	新型コロナの影響が大きい
81	悪い	製造業(生産財)	11名～20名	県南地区	コロナによる飲食店の休業
82	悪い	製造業(生産財)	31名～50名	県南地区	コロナ禍における消費動向の減退で、全体的に落ち込んでいる。(一部の業態では好業績のところもあるが。)

83	悪い	製造業(生産財)	51名～100名	福岡地区	コロナ下で得意先の動きがにぶい。
84	悪い	製造業(生産財)	51名～100名	福岡地区	コロナの影響で物件数が減り過当競争の影響を受けている。
85	悪い	製造業(消費財)	0名～5名	福岡地区	緊急事態宣言が出されて以降、人の移動が減っているため消費が鈍い。
86	悪い	製造業(消費財)	11名～20名	福岡地区	コロナ禍が長引き、イベント・外出の機会が減った分、商品の動きが悪く売上・利益ともに前年割れした。新規については、この状況がまだ続く見込みの中で、対応できる商品企画が活発になってきているため、増えてきている。
87	悪い	製造業(消費財)	21名～30名	福岡地区	コロナにより、印刷物の需要がなく案件がなくなっている。
88	悪い	建設業(建築)	6名～10名	福岡地区	2月受注予定の物件がなくなった。
89	悪い	建設業(建築)	51名～100名	福岡地区	外出する人が減ったため。
90	悪い	建設業(土木)	11名～20名	福岡地区	コロナの影響
91	悪い	建設業(設備)	0名～5名	福岡地区	ほぼ横ばい状態で雀の涙位は伸びてくれるけれど利益が出たと言えない
92	悪い	建設業(設備)	11名～20名	福岡地区	コロナの影響
93	悪い	建設業(設備)	31名～50名	筑豊地区	公共工事物件が土木工事(別業者受注)の工事遅延により当社受注の機械設置工事も遅れており、3月売上にならなかったために、昨年同期に比較して売上減となった。また、民間の設備投資状況は厳しく、この時期、出来るだけお金を社内に温存しようとする経営者の思惑があるようだ。
94	悪い	商業・流通業	0名～5名	福岡地区	コロナで売上減。大きな受注はあったが、納品はまだ
95	悪い	商業・流通業	0名～5名	筑豊地区	コロナウィルスの影響。
96	悪い	商業・流通業	0名～5名	県南地区	外食関係への業務用小麦粉を中心とした卸をしているため、緊急事態宣言による外食の冷え込みがそのまま影響している
97	悪い	商業・流通業	11名～20名	北九州地区	設備投資の抑制。
98	悪い	商業・流通業	21名～30名	福岡地区	・貨物量の減少。・引っ越しの減少(公務員の転勤が減っているとの事)
99	悪い	商業・流通業	21名～30名	福岡県外	コロナ
100	悪い	商業・流通業	31名～50名	筑豊地区	原油高により仕入れ価格の上昇とコロナによる燃料需要減。
101	悪い	商業・流通業	51名～100名	北九州地区	原油高
102	悪い	商業・流通業	51名～100名	筑豊地区	コロナ禍による製造業の低迷。
103	悪い	商業・流通業	100名以上	福岡地区	新型コロナウイルスにより緊急事態宣言が発出されたことにより販売チャンネルに打撃を受けた部門がある。
104	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	コロナに関する相談・サポートが減ったため。
105	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	公共事業の受注が100%。年度末にかけては新規契約が出にくい時期であるため。
106	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	コロナ禍で宅配需要が少し上がった。少し対お客様への営業ができるようになったため。
107	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	新型コロナウイルスの影響による発注及び業務進行の遅れ
108	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	販売品目を減らして、営業中のため。

109	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	コロナの影響があるかもしれないが、一概には言えない。
110	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	新規顧客の開拓がすすんでいない
111	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	海外とのコンサルティング業務が出来ないため。
112	悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	・会社へ訪問出来ない・お客様先の縮小・新規開拓出来ない
113	悪い	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡地区	コロナ
114	悪い	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡地区	コロナの影響により飛行機が止まったり従業員の雇用率の低下が原因です。
115	悪い	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	コロナです。
116	悪い	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	コロナ禍により、出店企業の減少で仲介が減ったこと
117	悪い	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	コロナの影響
118	悪い	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	コロナの影響でハウスクリーニングの仕事が減少。引っ越しが少ないようだ。
119	悪い	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	コロナ禍の緊急事態宣言による自粛等
120	悪い	サービス業(対事業所)	11名～20名	北九州地区	コロナの影響で施設営業が思うようにいきません
121	悪い	サービス業(対事業所)	21名～30名	筑豊地区	コロナの緊急事態宣言に伴い、利用児の減少
122	悪い	サービス業(対事業所)	51名～100名	福岡地区	工事物件が少なくなっている
123	悪い	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡地区	コロナの影響で業務量が縮小
124	悪い	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡地区	新型コロナの影響で顧客の事業活動が縮小されたため。
125	悪い	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡地区	コロナによる利用控えの為
126	悪い	サービス業(対事業所)	100名以上	県南地区	客先の業績の影響、新規案件不足
127	悪い	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	コロナで営業活動に制限があった
128	悪い	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	経済活動の停滞
129	悪い	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	緊急事態宣言下による買い控え等
130	悪い	サービス業(対個人)	6名～10名	福岡地区	消費者の買い控え。訪問活動の減少(対面購入の延期)
131	悪い	サービス業(対個人)	6名～10名	福岡地区	仕事量の減少
132	悪い	サービス業(対個人)	6名～10名	福岡地区	コロナ禍によって、利用希望者の動きがなくなり、新期利用者が減ったこと。それに加え、就職による退所者(卒業者)は通常と変わらなかったため。
133	悪い	サービス業(対個人)	6名～10名	筑豊地区	コロナ禍
134	悪い	サービス業(対個人)	21名～30名	福岡地区	緊急事態宣言等
135	悪い	サービス業(対個人)	21名～30名	福岡地区	緊急事態宣言もあり、例年に比べれば大きく落ちているが、前年に比べればまだ良い
136	悪い	サービス業(対個人)	31名～50名	福岡地区	コロナ渦の影響
137	悪い	サービス業(対個人)	51名～100名	福岡地区	スタッフが不足しており、サービス提供数が減ったため
138	悪い	サービス業(対個人)	51名～100名	福岡地区	コロナ
139	非常に悪い	製造業(生産財)	0名～5名	北九州地区	コロナ禍により、従来の得意先(大手警備会社)からの受注が大幅に減少したため。

140	非常に悪い	製造業(生産財)	6名～10名	筑豊地区	弊社は工場の機械設備の部品製作やメンテを行っていますが、工場の稼働率の低下や廃業等による客数の減少により売り上げダウンとなっています。
141	非常に悪い	製造業(生産財)	11名～20名	福岡地区	店が悪くて、通販がいい
142	非常に悪い	製造業(消費財)	0名～5名	福岡地区	全体に悪い。
143	非常に悪い	製造業(消費財)	11名～20名	北九州地区	緊急事態 宣言の再発令により、展示会のキャンセルが相次いだため。
144	非常に悪い	製造業(消費財)	31名～50名	福岡地区	受注量の不足
145	非常に悪い	製造業(消費財)	31名～50名	福岡地区	コロナ の影響によりイベント並びに集客に伴う制限の為。
146	非常に悪い	建設業(建築)	11名～20名	福岡地区	自社努力によるものではなく、市場動向の影響が大きいと思われる。
147	非常に悪い	建設業(土木)	0名～5名	福岡地区	営業不足・経営者の実力不足・ コロナ 過による
148	非常に悪い	商業・流通業	0名～5名	福岡地区	コロナ の影響
149	非常に悪い	商業・流通業	6名～10名	福岡地区	人が動き出した。
150	非常に悪い	商業・流通業	100名以上	福岡地区	新型 コロナ ウイルスや 緊急事態 宣言による影響。
151	非常に悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	コロナ ウイルスの影響
152	非常に悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	コロナ の影響だと思われる
153	非常に悪い	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	土木設計部門の公共事業の減少
154	非常に悪い	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	当社のお取引先が地元の中小メーカー、サービス業、飲食店などで人の需要が半減したため。
155	非常に悪い	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	コロナ
156	非常に悪い	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	流行り病予防のため、送迎サービスを中止したため自ら運転してまでの来客が極端に落ちた。
157	非常に悪い	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	緊急事態 宣言下で、営業活動に支障があり、アプローチ、案内、売り込みが出来ない！
158	非常に悪い	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	緊急事態 宣言、その後の時短営業要請により、飲食店はかなりのダメージになっています。
159	非常に悪い	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	飲食店なので時短営業の影響が大きい
160	非常に悪い	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	コロナ 禍
161	非常に悪い	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	コロナ
162	非常に悪い	サービス業(対個人)	0名～5名	県南地区	緊急事態 宣言の為！
163	非常に悪い	サービス業(対個人)	11名～20名	福岡地区	コロナ の影響
164	非常に悪い	サービス業(対個人)	11名～20名	福岡地区	緊急事態 により休業のため。
165	非常に悪い	サービス業(対個人)	11名～20名	県南地区	協力金でプラス、売上は激減(飲食業)
166	非常に悪い	サービス業(対個人)	51名～100名	福岡地区	当方障がい福祉サービス事業所です。新型 コロナ ウイルス感染症による影響で利用者の利用控えと関係機関(特に病院)のロックダウンによる利用紹介が停止している状態。
167	-	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡地区	新規顧客開拓による
168	-	サービス業(対個人)	11名～20名	福岡地区	外出自粛によりグループホームスタッフの仕事量が増えたり新規入居者が発生しないため